

鈴鹿川水系 内外水統合型の浸水想定図 (1/10規模降雨)

【現況河道】

1. 説明文

(1)この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%))の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。

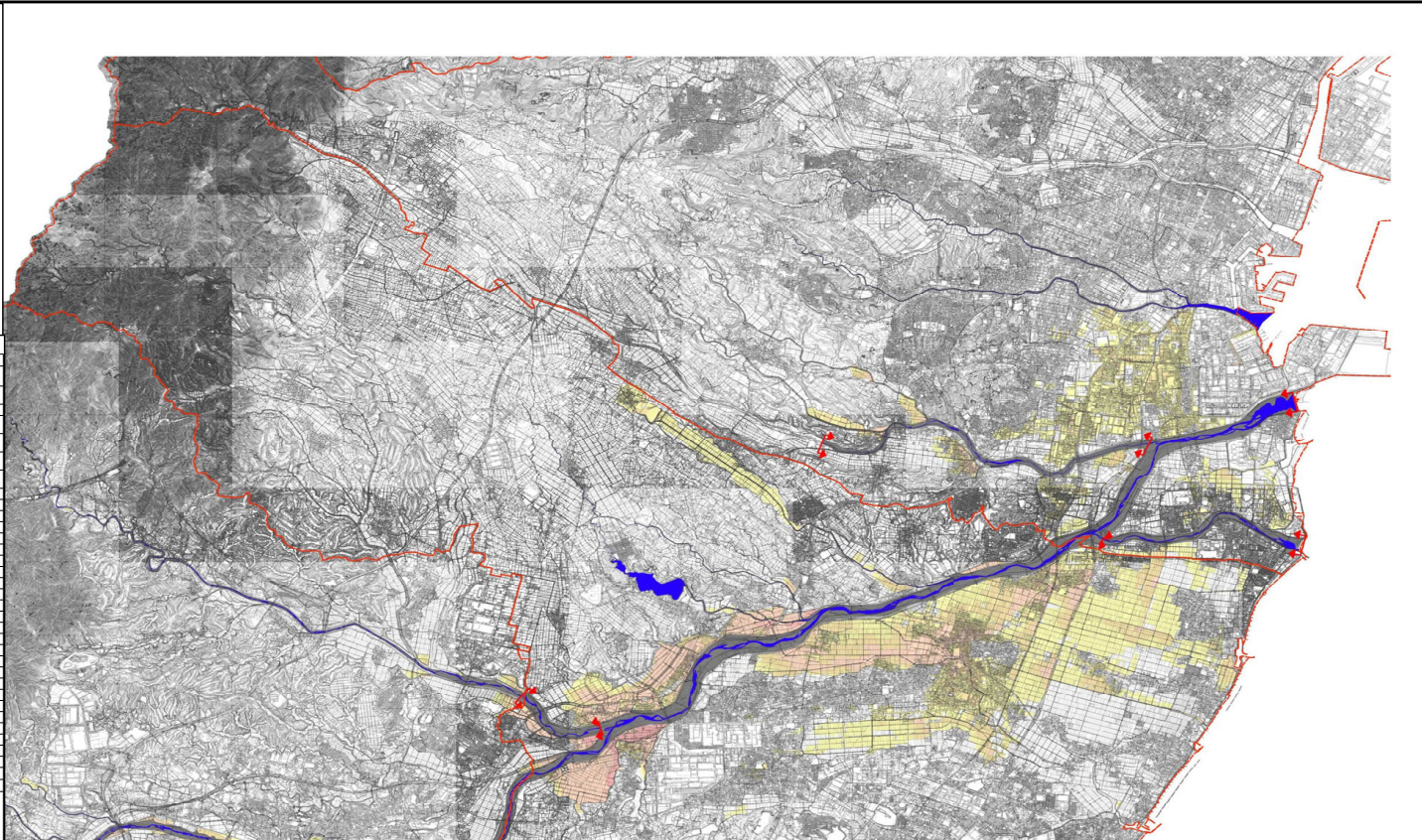
(2)この浸水想定図は、現況の鈴鹿川流域(一部、天白川・金沢川流域含む)の河道、洪水調節施設及び雨水排水施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%))の降雨に伴う洪水により鈴鹿川流域(一部、天白川・金沢川流域含む)の河川・下水道が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

(3)このシミュレーションの実施にあたっては、高潮による氾濫を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定範囲内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。また、実際の浸水深と異なる場合があります。

また、下水道からの氾濫は、塩浜地区・楯地区・河原田地区・内部地区・東御幸地区・金沢地区を考慮していますが、雨水出水浸水想定区域とはシミュレーション条件が異なるため、雨水出水浸水想定区域とは異なる浸水範囲・浸水深・浸水継続時間となっています。なお、このシミュレーションは、鈴鹿川水系河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(鈴鹿川中下流・鈴鹿川派川・平成7年5月型、鈴鹿川上流:昭和28年9月型、内部川:昭和40年9月型、安楽川:昭和36年6月型)や三重県洪水浸水想定区域図検討時の計画規模での降雨波形、各河川流域・下水道排水区域の特性・被害リスク等に基づいて設定した降雨波形等を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

2. 基本事項等

(1)	名称	全川流域治水計画	
(2)	作成主体	国土交通省中部地方整備局三重河川国道事務所	
(3)	対象区域	鈴鹿川水系(津市、津市東部、津市西部、津市北部、津市南部、津市東部、津市西部、津市北部、津市南部、津市東部、津市西部、津市北部、津市南部)	
(4)	浸水想定	浸水想定範囲	河川等範囲内
	浸水深	浸水深	河川等範囲内
	浸水継続時間	浸水継続時間	河川等範囲内
	浸水想定範囲	浸水想定範囲	河川等範囲内
	浸水深	浸水深	河川等範囲内
	浸水継続時間	浸水継続時間	河川等範囲内
	浸水想定範囲	浸水想定範囲	河川等範囲内
	浸水深	浸水深	河川等範囲内
	浸水継続時間	浸水継続時間	河川等範囲内
	浸水想定範囲	浸水想定範囲	河川等範囲内
	浸水深	浸水深	河川等範囲内
	浸水継続時間	浸水継続時間	河川等範囲内
(5)	浸水想定	浸水想定範囲	河川等範囲内
	浸水深	浸水深	河川等範囲内
	浸水継続時間	浸水継続時間	河川等範囲内
	浸水想定範囲	浸水想定範囲	河川等範囲内
	浸水深	浸水深	河川等範囲内
	浸水継続時間	浸水継続時間	河川等範囲内
	浸水想定範囲	浸水想定範囲	河川等範囲内
	浸水深	浸水深	河川等範囲内
	浸水継続時間	浸水継続時間	河川等範囲内
	浸水想定範囲	浸水想定範囲	河川等範囲内
	浸水深	浸水深	河川等範囲内
	浸水継続時間	浸水継続時間	河川等範囲内
(6)	浸水想定	浸水想定範囲	河川等範囲内
(7)	浸水想定	浸水想定範囲	河川等範囲内



凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

- 0.3m未満の区域
- 0.3m~0.5m未満の区域
- 0.5m~1.0m未満の区域
- 1.0m~3.0m未満の区域
- 3.0m~5.0m未満の区域
- 5.0m~10.0m未満の区域
- 10.0m~20.0m未満の区域
- 20.0m以上の区域
- 河川等範囲

浸水想定区域指定の対象となる洪水予報河川・水位用和河川

この地図の作成に当たっては、三重県市町総合事務組合管理者の承認を得て、同組合発行の「2017三重県共有デジタル地図」を使用した。(承認番号 三総合地第14号)